

支部だより
三原支部

閑谷学校と熊野神社の研修

三原支部 平畑 隆浩

9月10日、三原市歴史的建造物研究会と一緒に、岡山の「閑谷学校」を訪れました。330年前に岡山藩主池田光正によって建築された、日本最古の庶民のための建物です。

普通は藩校（武士の為の学校）だけでしたが、藩が繁栄するには武士のみならず庶民も学ぶことが大切だと思い創設された学校だと、三浦教授から説明を受けました。備前焼の瓦が載った講堂は、歴史的にも素敵な場所だと教わりました。以前にも観光で訪れたことはありましたが、三浦先生の説明で時代背景を学ぶことの素晴らしさ知り、一層深い感銘を受けました。



講堂の屋根が鍛葺き（しころぶき）で2段になっているのは、個人的なデザインだと思って

いたのですが、実は質素倹約を推奨していた幕府の指導により、梁間三間より広い建物を禁じられていたのだそうです。そこで三間の梁に一間半の鍛（しころ）と、一間の縁側を回したように見せる為にだけ2段にしたそうです。それから、さすがは岡山、備前焼の瓦の本葺です。

それに対して小斎（藩主のお成の間）は柿葺（こけらぶき）の数奇屋造りで、貧相に見えますが、三浦教授の説明によりますと、柿葺の方が格が高いものだそうです（勉強になりました）。

広小舞の下の茅負いの部分にある備前焼の小さな筒は、万が一瓦を通過した雨水を、柿葺をした屋根の上に垂木の間に漆をかけた板を通して排水した、万全の雨対策です。池田光正がここをいかに大切な所として建築させたのかがよく分かります。（今で言うと、「アスファルトルーフィング」のようなものですね。）

他に、孔子を祀る聖廟と藩主池田光政の廟も見て回りました。この池田光政の祖父は、姫路城を作った藩主だそうです。そして庭に目をやると、大きなアールで作られた石塀が。儒教の中国を模してか、独特の雰囲気を感じられます。

午後は、倉敷市にある熊野神社へ。熊野十二所権現の本殿と名床（12の神様をお祀りしている本殿）を見学しました。この中では、熊野造りの特徴と時代背景を聞きました。向拝に向けて垂木が降りてくる納まりに隅木が入っているのは、他の春日造りには見られないものです。もう一つの特徴は、内陣が2部屋あることだそうです。

海老虹梁（えびこうりょう）に入っている模様で何世紀ころの建築かが分かるそうですが、この熊野神社には入八双（一番下の写真を参照）の模様があり、これは16世紀の特徴だとか。ちなみに、この時代以前は模様無しです。そしてこれより新しいものは、渦巻き模様だそうです。

このように1列に12柱をお祀りしているのが現存しているのは非常に珍しく、歴史的にも価値のあるものだそうです。宮司さんからも、「大切な建物を、どうしたらよいのでしょうか？」と質問が出るほど、参加された方の意識は高く、有意義な時間を過ごしました。



MONTHLY
No.66 建築士

HIROSHIMA



表紙写真について

太陽光と太陽熱利用の家

●設計監理／一級建築士事務所

エム・エー・エス アーキテクト

●施工／竹原営繕㈱

●所在地／竹原市竹原町

●構造規模／木造2階建

●敷地面積／180.97㎡

●建築面積／94.49㎡

●延床面積／167.26㎡

●完成年月／2011年3月

区画整理事業中の敷地に計画した住宅である。南側に広い道路（12m）が計画されており十分な日照が見込

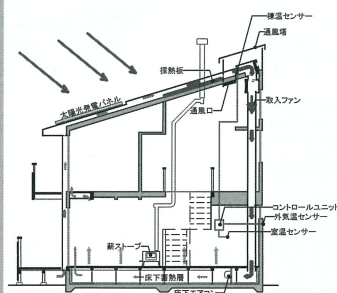
まれることから、太陽光発電とともにパッシブシステムの導入を試みた。

ソーラーシステム「そよ風」（環境創機㈱）は壁面や屋根の裏側に空気を通して、冬は暖かく、夏は涼しい新鮮な空気を床下に取り込み、床下に蓄熱、蓄冷するシステムになっています。加えて断面計画の工夫による積極的な重力換気計画、床下エアコンによる床暖房と床蓄熱等の試みを行うことにより、年間を通じて気持ちの良い温熱環境が実現できたのではないかと考えています。

外観は、階段を中心に居室部分をまとめたボックスと通り土間とし張り出した玄関、その上に共働きの主婦のために透明な屋根付きのインナーバルコニー、集熱のための黒い壁面と片流れの屋根、重力換気のための通風塔、生活を楽しむための薪ストーブの煙突等、機能をそのまま形に表しています。

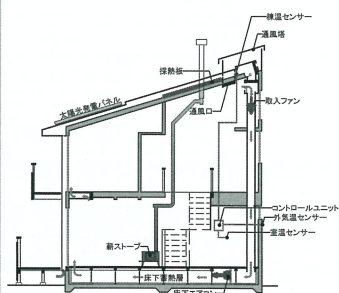


暖房取入運転



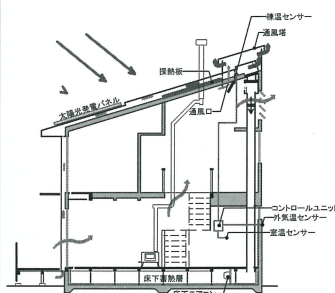
天気の良い日には、壁の下から取入れた冷たい空気は壁から屋根上部へと徐々に温度を上げながら壁へと上昇していきます。床温度が所定の温度に達すると、温まった空気を床下へと取入れます。取入れられた空気は床下のコンクリートに蓄熱されるとともに、床に優しいパドル式床暖房として機能しつつ、床吹出口から家の隅々へと行き渡ります。

暖房循環運転



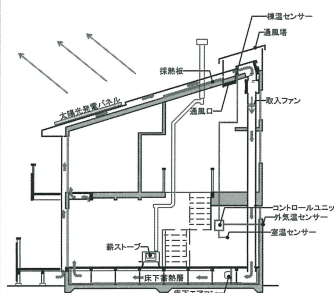
夜や日射のないときは、外気取入口は自動的に閉鎖されます。そして床下の蓄熱コンクリートの輻射熱により室温の低下を防ぎます。気温が低いときには補助暖房としてエアコン、薪ストーブ等を利用しますが循環運転モードでは上部への暖気を床下に送ることにより、家全体を均質に暖めることができます。床下エアコンを深夜電力で稼働させることにより天気が悪い日が続いても経済的に蓄熱することも可能です。

通風時 （エネルギー不使用）



冬モード以外のときは室温が設定温度以上の場合、様々の温度が熱くなると自動的に排気状態になり、通風塔から排気されます。換気は窓による重力換気、通風塔を利用したより効率的な熱気排出も可能です。

涼風取入運転 （ナイトパージ運転）



夜の放射冷却現象で冷くなった金属屋根の冷気を取り込むことにより、床下コンクリートに蓄冷しつつ、家全体を気持ちのよい温度にできます。昼間温度が上がった場合でも床下に蓄冷されているので、循環運転を行うことにより、経済的な冷房を行うことも可能です。

事務局より「専攻建築士」の新規申請と更新申請

★平成23年度の審査・登録申請書用紙類、記入例、審査・登録申請のガイドは、ホームページからダウンロードして下さい。

<http://www.k-hiroshima.or.jp/>

□申請期間

平成23年11月1日（火）～11月30日（水）

□審査・登録手数料（会員）

1 領域 16,800円

2 領域 27,300円

3 領域 37,800円

□申請方法

審査・登録申請ガイドをご覧ください。

★必ず、平成23年度の「広島県建築士会」の申請書を使用して下さい！

昨年度のもの、他の建築士会のもの、連合会のものは使わないで下さい！

★ガイドをよく読んで下さい！

□新規申請

申請条件

10月までにCPD制度に参加している

選考基準

・実務経歴が資格取得後5年以上ある

・実務実績：責任ある立場で3件

・CPD単位：12単位

（H22.11.1～H23.10.31の期間のもの）

□更新申請

対象者：平成18年度登録の専攻建築士

（登録証の有効年月日が、2012年3月31日の方）

□受付場所

本部事務局のみ（新規・更新とも）

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47-5F

あなたの作品で 表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真（プリント、ポジ、データ）2～3点を設計概要、設計趣旨（400字程度）と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47

広島県情報プラザ5F

TEL (082) 244-6830(代)

FAX (082) 244-3840

mail: info@k-hiroshima.or.jp

URL: <http://www.k-hiroshima.or.jp/>

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

（既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入）

- 指定確認検査機関
- 登録建築物調査機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 住宅エコポイント関連業務

- 登録住宅性能評価機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 調査診断業務(耐震診断等)

- 指定構造計算適合性判定機関
- 長期優良住宅認定審査業務
- 耐震診断判定業務

URL <http://www.jesupport.jp/>

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

本社 〒730-0041 広島市中区小町2-30

TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190

e-mail: mail@jesupport.jp

支店:東京・札幌

営業所:呉

平成23年度 広島県地域貢献活動基金助成対象事業

平成 23 年 6 月 13 日開催の活動センター選考委員会において慎重審議の結果、下記のとおり助成対象事業及び助成対象額を決定しました。

活動団体名	事業概要
特定非営利法人 けごや元気丸	環境の保全ための清掃活動、植栽や老人サロンの開設、子どもたちとの野外活動、地域の巡回バスの運行などを通じ、地域活性化を進めていく。
長江中町内会 マチづくり研究会	地域防災の視点から、家屋や宅地の点検の実施、また、分かりやすい防災に関する資料（防災のしおり）を作成し、全戸に配布するとともに、「火災報知機」の全戸設置を進める。ひとり暮らし高齢者には必要に応じ設置をボランティアで行う。
東新会	町並み、建物調査、ワークショップを基に街並みの景観を図るため、地域で多用されている木格子も取り付け、草木染めのれんの作成を行い景観の調和を図る。
建築士会 社会活動委員会 青年・女性部会	港から入江・歴史をつなぐ城下町 ～歩いて探そう未来の fukuyama ～をテーマに、街の成り立ちと現状を地域に暮らす子どもたちと共に学び、共に歩き検証することで、子どもたちに暮らしている街の認識を新たにさせるとともに、建築士としての関わりを考える。
アーキウォーク広島	広島市内において、一般市民及び観光客を対象にした、建築公開イベントの規模を大幅に拡大し、ツアー 20 本延べ 500 名の動員を目指す。また、ガイドブックの増刷発行を行う。
特定非営利法人 ネットワーク竹原	秋の夜のイベントとして、竹原の歴史文化と竹灯り・現代芸術との融合・進化を模索し、「町並み」の新たな魅力の創設・継承・発展を図ることを目的に、国内外からアーティストを招き、現代アート・竹オブジェ等の展示を町並み保存地区内で行う。
「多門亭」再生活動	「多門亭」再生事業として、使用者不在で長期間経過し老朽化著しい「多門亭」を耐震性の向上を図る新しい工法を採用し建築物の再生を図りつつ、次世代に継承するため収益施設としての可能性を示す。これにより、今後のモデルになるよう居住者、NPO、行政等との共同を図りながら、「尾道方式」の確立を図る。

CPD・専攻建築士制度委員会より 平成23年度 CPD制度参加継続に関する最終連絡

建築士会 CPD 制度に参加されている皆様には、3 月と 6 月に葉書で 23 年度データ管理料のご請求を致しております。また、会報誌の 6 月号にもお知らせを掲載致しました。

10 月末までにご入金が確認できない場合は、建築士会 CPD 制度参加取り下げの手続きを取りますのでご了承下さい。

また専攻建築士の方は、CPD 制度参加取り下げになりますと、次の更新申請ができません。

事務局より 23年度会費のお支払いについて

23 年度会費の「預金口座自動振替制」に手続きを行われなかった方、また、手続きが間に合わなかった方には、4 月号と 8 月号の会報誌に、郵便局での振込用紙を同封しております。お振り込みはお済みでしょうか？

皆様の会費が会員活動の一助となっております。納入がまだの方は、至急お支払い下さいますようお願い致します。

第35回 支部対抗ソフトボール大会

9 月 10 日（土）、東広島中核グラウンドで恒例の支部対抗ソフトボール大会が開催されました。暑い中、熱戦が繰り広げられ、見事、東広島支部が優勝しました。

成 績
（優勝）東広島支部 10 － 9 県北支部（準優勝） （3 位）呉地区支部 5 － 3 尾道支部



2011 Information Calendar 10月・11月の行事予定

10 October
2 日・尾道地区建設関係ソフトボール大会(尾道支部)
9 日・一級・木造建築士「製図」試験(広島県情報プラザ)
15 土・支部内交流会(東広島支部)
22 土・県内見学会「呉市音戸市民センター」(広島支部)
23 日・県外研修会「姫路城・書写山円教寺」 (呉地区支部)

11 November
12 土・支部内交流会(東広島支部)
26 土・県外見学会・山口方面(広島支部)
・支部内交流会(東広島支部)

安心で安全な住まいづくりをサポートします

- ◎ 建築確認・検査

◎ 住宅性能評価

◎ フラット 35 適合証明

◎ 長期優良住宅技術審査

◎ 住宅エコポイント
- ◎ 住宅かし担保責任保険

(財) 住宅保証機構 (まもりすまい保険)

(株) 住宅あんしん保証 (あんしん住宅瑕疵保険)

(株) 日本住宅保証検査機構 (JIO わが家の保険)

たてもの (株) (たてもの保険 NAIS)

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関
株式会社 広島建築住宅センター

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

指定確認検査機関
(中国地方整備局長指定第1号)

登録住宅性能評価機関
(中国地方整備局長登録第5号)

登録建築物調査機関
(中国地方整備局長登録第1号)

HOUSE PLUS

ハウスプラス中国住宅保証株式会社

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL: 082-545-5607(代表) FAX: 082-545-5608